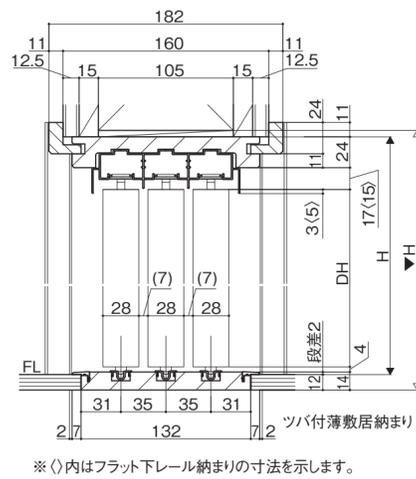


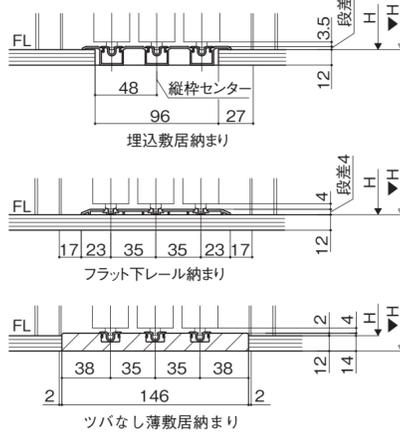
■引違い戸3枚建ユニット ケーシング付

●縦断面図

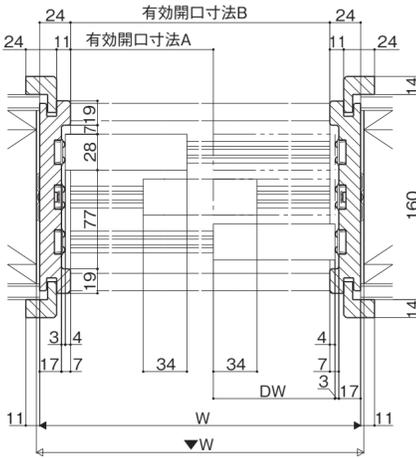


W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
W24(2429)	1566	2381

H呼称(枠外寸法)
H20(2023)

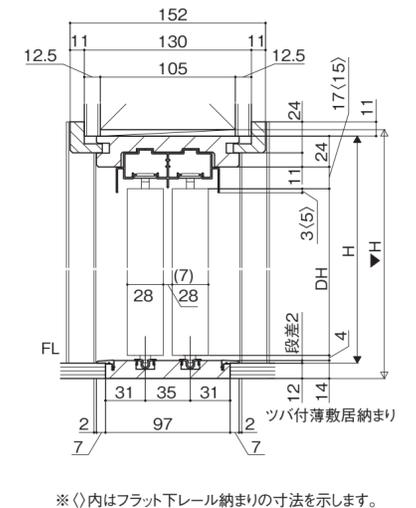


●横断面図



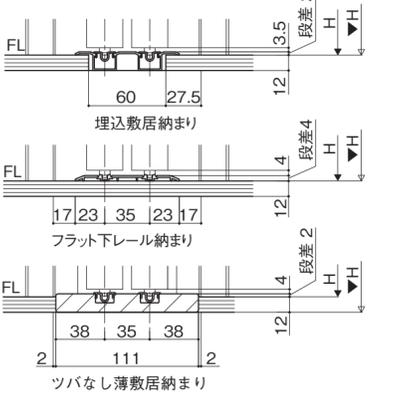
■引違い戸4枚建ユニット ケーシング付

●縦断面図

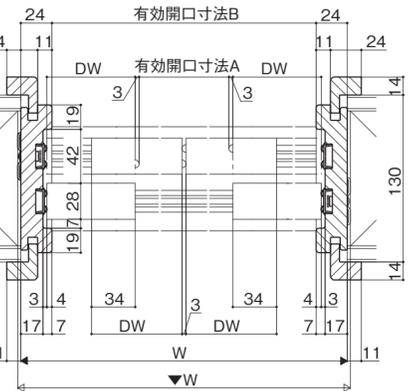


W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
W23(2339)	1111	2291
W32(3251)	1567	3203

H呼称(枠外寸法)
H20(2023)

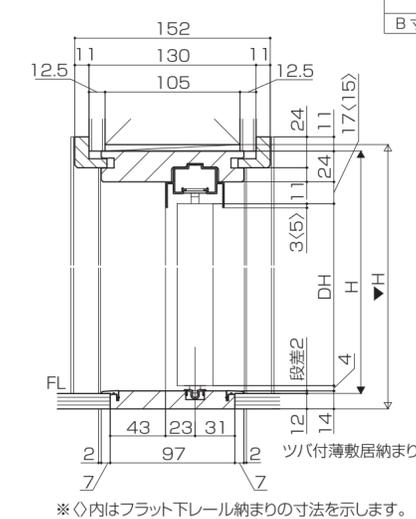


●横断面図



■引分け戸ユニット ケーシング付

●縦断面図

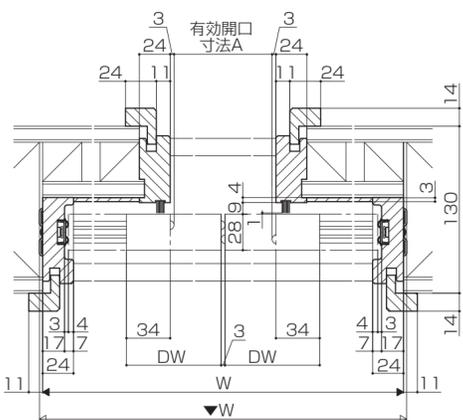


W呼称(枠外寸法)	A寸法	H呼称(枠外寸法)
W32(3251)	1567	H20(2023)

B寸法	NC156	NC171	NC180	薄壁	厚壁
	0	7.5	12	0	13.5



●横断面図



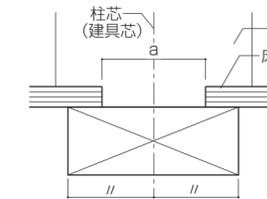
■床の張り方

【埋込敷居の場合】

●引違い・3・4枚建

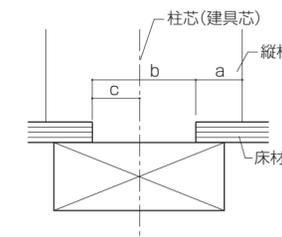
※床材は、柱芯(建具芯)を中心にa寸法あけて張ってください。

枠機種	a寸法	(単位:mm)
引違い・4枚建	60	
3枚建	96	



●片引き・引分け

※床材は、柱芯(建具芯)より引込み側にb寸法あけて張ってください。柱芯と建具芯が合っていない場合は、縦枠端部よりa寸法内側に入った所にb寸法あけて張ってください。

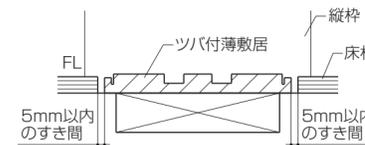


枠機種	a寸法	b寸法	c寸法
NC90	15	30	0
NC115	27.5	30	0
NC156	48	30	0
NC171	63	30	7.5
NC180	72	30	12
C付115(薄壁用)	27.5	30	0
C付142(厚壁用)	54.5	30	13.5
NC片引き2枚建	37	60	7
NC片引き3枚建	31.5	96	22.5
C付片引き2枚建	27.5	60	12.5
C付片引き3枚建	32	96	33

※フラットレールを使用する場合、床乗せの仕様になるため、床の開口をつくる必要はありません。

【ツバ付薄敷居の場合】

※枠の取付け後、下図のように床材を張ってください。



※床材と薄敷居のすき間は5mm以内にしてください。ただし、キャスターや車いすなどの荷重がかかる場合は、すき間をあけないでください。

【ツバなし薄敷居の場合】

※枠取付け後、縦枠・薄敷居にそって床材を張ってください。



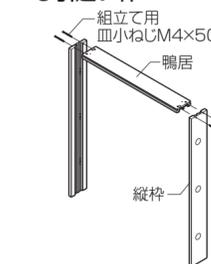
■取付け順序

■枠の組立て

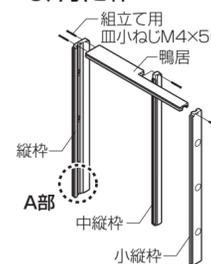
【埋込敷居・フラット下レール使用の場合】

●下図のように、各部材を組み合わせ、同梱のねじ(皿小ねじM4×50)で固定します。

●引違い枠

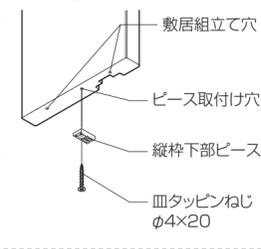


●片引き枠



■A部詳細図(片引き2枚/3枚の場合)

※縦枠の下部に縦枠下部ピースを同梱のピース取付け用皿タッピンねじφ4×20で取付けてください。
※片引き2枚建の場合は1個、片引き3枚建の場合は2個取付きます。



【埋込敷居】

- 片引き
- 引違い・片引き2枚建
- 3枚建・片引き3枚建

【フラット下レール】

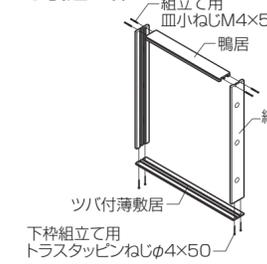
- 片引き
- 引違い・片引き2枚建
- 3枚建・片引き3枚建

※NC90/115の場合、組立て用ねじ部に穴埋めシールを張付けてください。

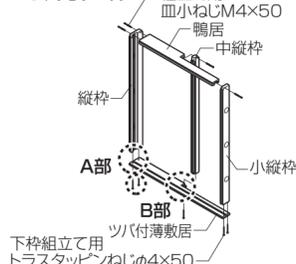
【ツバ付薄敷居使用の場合】

●下図のように、各部材を組み合わせ、同梱のねじ(皿小ねじM4×50)およびトラスタッピンねじφ4×50で固定します。

●引違い枠



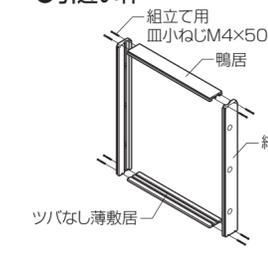
●片引き枠



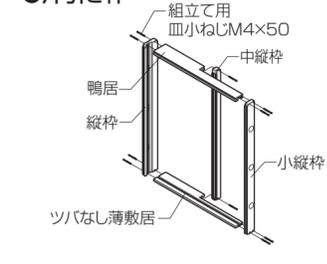
【ツバなし薄敷居使用の場合】

●下図のように、各部材を組み合わせ、同梱のねじ(皿小ねじM4×50)で固定します。

●引違い枠

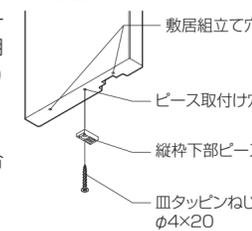


●片引き枠



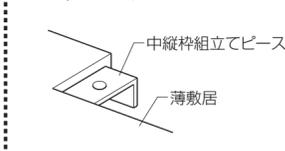
■A部詳細図(片引き2枚/3枚の場合)

※縦枠の下部に縦枠下部ピースを同梱のピース取付け用皿タッピンねじφ4×20で取付けてください。
※片引き2枚建の場合は1個、片引き3枚建の場合は2個取付きます。



■B部詳細図

※中縦枠をピースの上のせ、薄敷居に同梱のねじ(トラスタッピンねじφ4×50)で下から固定します。



【ツバ付薄敷居】

- 片引き
- 引違い

【ツバなし薄敷居】

- 片引き
- 引違い

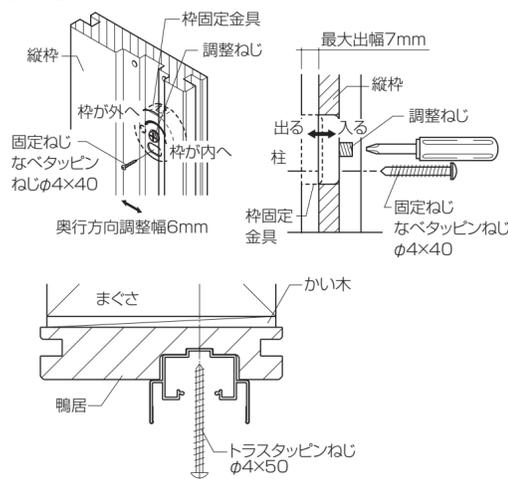
■ 縦枠の取付け

〈C付/NC156、171、180、210の場合〉

- ① 縦枠に取付けられている枠固定金具（縦枠に3個取付け）の調整ねじを時計回りに回し、金具を均等にしてください。
- ② 枠の垂直を確認してください。
- ③ 固定ねじ（なべタッピンねじφ4×40）を枠固定金具の長穴中央部より締付けてください。
- ④ 枠の奥行き方向の倒れを確認してください。倒れている場合は、固定ねじをゆるめ、枠を動かします。（奥行き方向の調整幅は6mmです。）調整後、ねじを固定してください。
- ⑤ 枠の垂直を確認してから、枠固定金具の取付いている部分の開口寸法が均等になるように調整してください。
- ⑥ 再度、枠の垂直を確認してください。
- ⑦ 鴨居にかい木を入れてトラスタッピンねじφ4×50で固定してください。

※ 縦枠の固定箇所を増やしたい場合は、予備の鴨居取付けねじ（トラスタッピンねじφ4×50）で固定してください。

● 縦枠・小縦枠



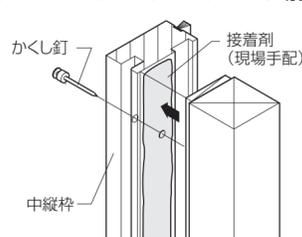
〈NC90、115の場合〉

- ① 縦枠、小縦枠をDNビス（皿木ねじ）φ3.8×50でかい木を入れて固定してください。
- ② 鴨居をトラスタッピンねじφ4×50にて、かい木を入れて固定してください。

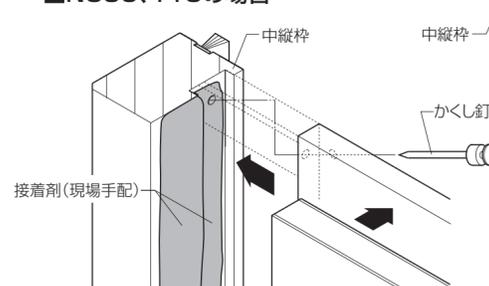
● 中縦枠

※ 裏面に接着剤（現場手配）を塗布し、専用のかくし釘で固定します。

■ C付/NC156、171、180、210の場合

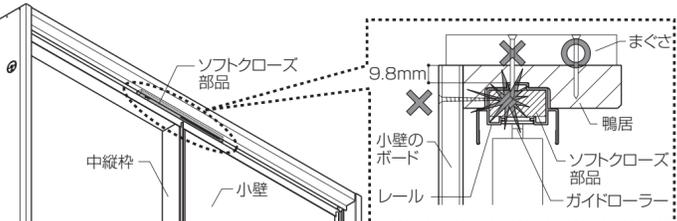


■ NC90、115の場合



● お願い

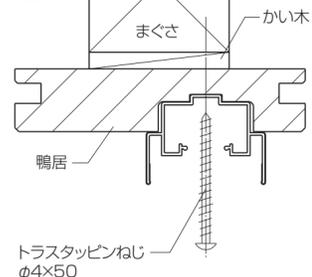
- ※ 枠固定金具の調整には電動ドライバーを使用しないでください。
- ※ 必ず内装ボードは縦枠に突きあてて施工してください。突きあてができない場合は必ずかい木を入れてください。
- ※ 片引き・引分けの建具引込み部の小壁は、枠を開口部に取付けてから施工してください。小壁のボードを取付ける際、取付ビスが鴨居と鴨居レールを貫通しないように注意してください。中縦枠をまたぐ位置にソフトクローズ部品があるため、部品が破損し、作動不良の原因となります。



● 小壁の施工時や、まぐさからのねじ打ちなど特に注意してください。

- ※ 軽量鉄骨に直接取付ける場合は、同梱のねじでは取付けできません。現地にて鉄骨までかかる長さのねじを手配してください。
- ※ 鴨居の躯体固定ねじを締めすぎると、本体の動きが悪くなる場合があります。本体吊込み時に動きが悪い場合はねじをゆるめてください。

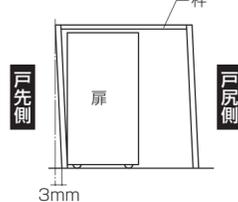
● 鴨居



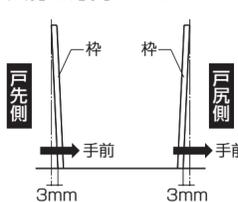
■ 取付け精度の許容範囲

※ 横方向の倒れ・奥行き方向のねじれ・枠のタイコ・ツツミが3mmを超える場合は、3mm以内になるように取付けを修正してください。（引戸が吊込めないソフトクローズ機構の作動不良の原因となります。）

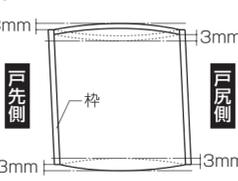
● 横方向の倒れ



● 奥行き方向のねじれ

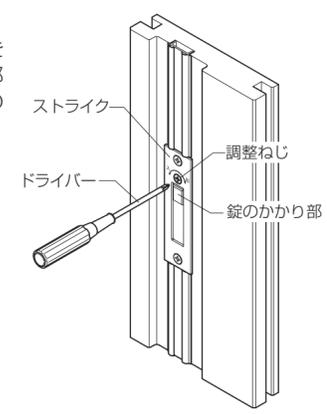


● 枠のタイコ・ツツミ

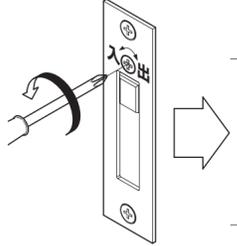


〔引戸錠のかかり調整〕

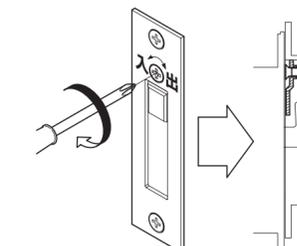
● ストライクの調整ねじを右に回すと錠のかかり部が出て、左に回すと錠のかかり部が奥に入ります。



● 本体と枠のすき間が大きい場合
調整ねじを左に回して調整してください。



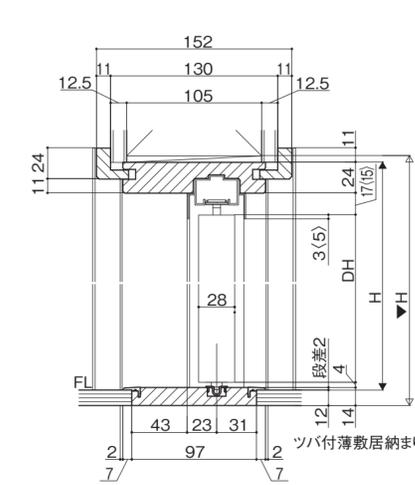
● 錠がかかりにくい場合
調整ねじを右に回して調整してください。



■ 納まり図

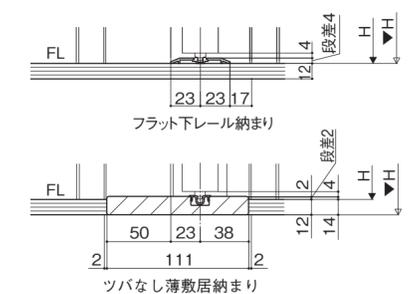
■ 片引戸標準・幅狭タイプユニット ケーシング付

● 縦断面図



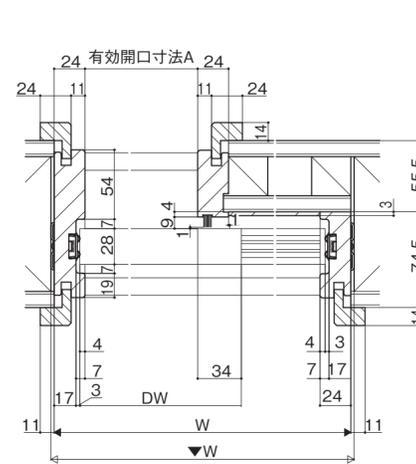
W呼称(枠外寸法)	A寸法	H呼称(枠外寸法)
W12(1188)	553	H18(1823)
W13(1324)	621	H20(2023)
W14(1454)	686	
W16(1644)	781	
W18(1824)	871	

■ 枠見込み 90・115mm の設定はありません。



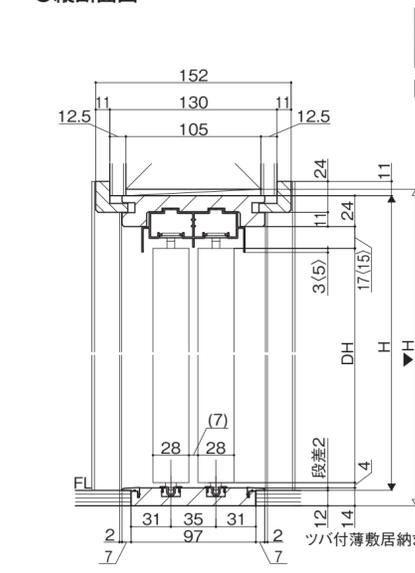
※ ()内はフラット下レール納まりの寸法を示します。

● 横断面図



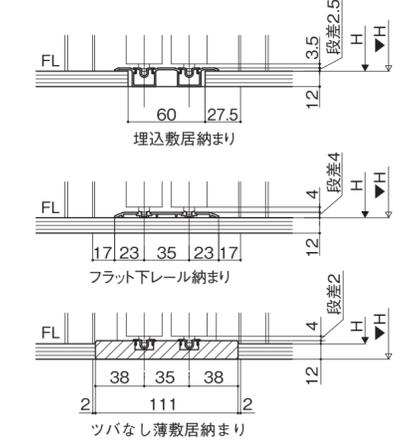
■ 引違い戸2枚建ユニット ケーシング付

● 縦断面図



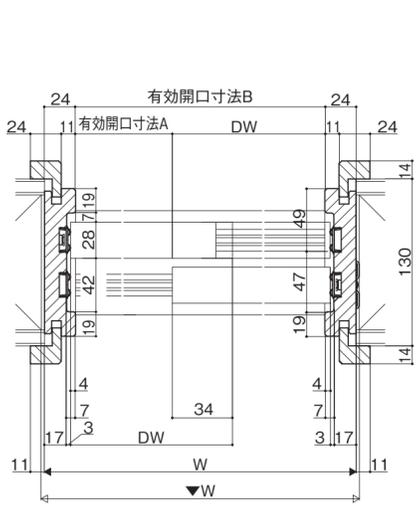
W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法	H呼称(枠外寸法)
W16(1644)	781	1596	H18(1823)
W18(1824)	871	1776	H20(2023)

■ 枠見込み 90・115mm の設定はありません。

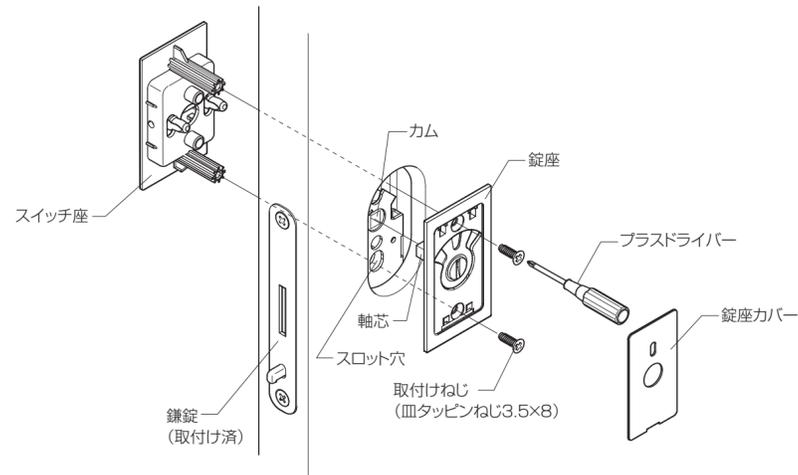


※ ()内はフラット下レール納まりの寸法を示します。

● 横断面図

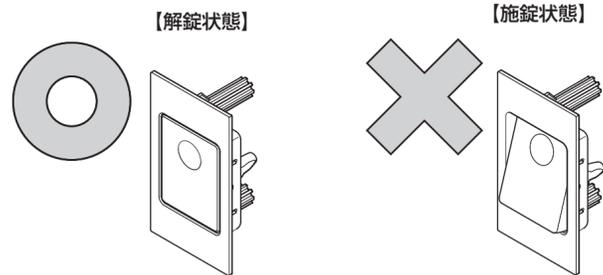


■プッシュ錠の取付け

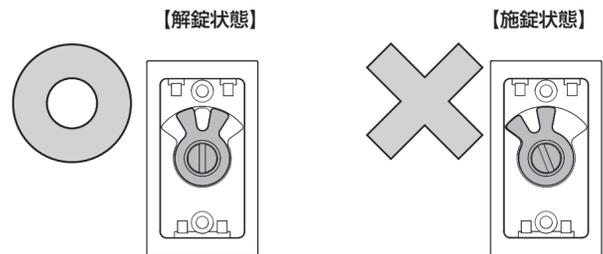


【錠の取付け】

①スイッチ座が解錠状態（フラットな状態）になっていることを確認して、スイッチ座を錠錠のスロット穴に差込んでください。



②スイッチ座の軸心が解錠状態になっていることを確認して、錠座の軸芯を錠錠のカムに差込んでください。



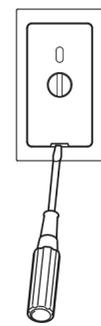
③スイッチ座と錠座を取付けねじで固定してください。

・お願い
※必ず手回しドライバーでネジを固定してください。
※取付けねじを締め付け過ぎないでください。錠座が反ります。

④錠座カバーを錠座に取付けてください。

【錠の取外し】

①錠座カバー下部の切欠き部にマイナスドライバーを差込んで錠座カバーを外してください。



・お願い
※無理矢理カバーを外さないでください。錠座カバーが破損するおそれがあります。

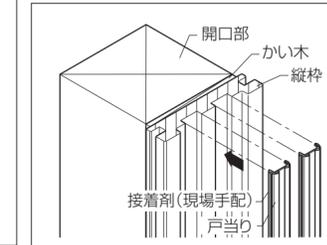
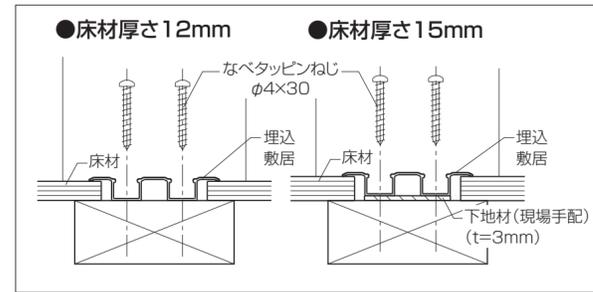
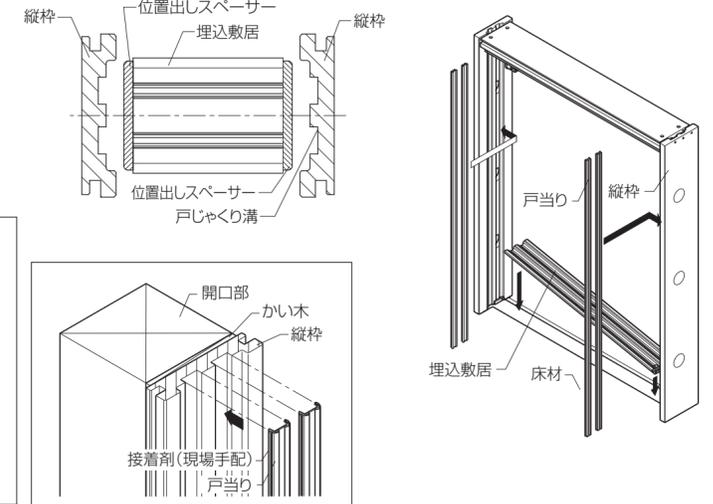
②スイッチ座と錠座の取付けねじを緩めてください。

③錠座とスイッチ座を外してください。

【埋込敷居の取付け】

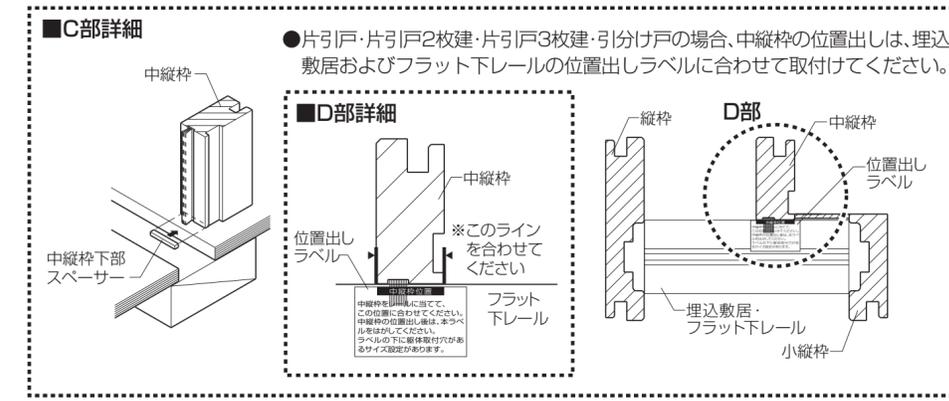
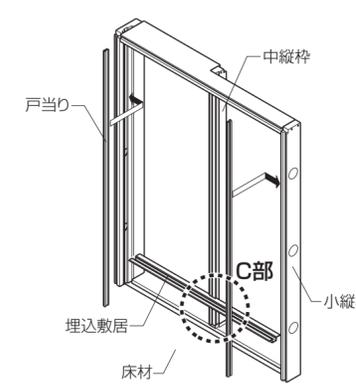
●引違い枠

(3・4枚建枠は引違い枠に準じる)
①埋込敷居に付いている位置出しスペーサーを、縦枠の戸じゃくり溝に合わせます。
②同梱のねじで固定します。
③戸当りに接着剤(現場手配)で溝をふさぎます。
※戸当りは必ず、敷居取付け後に取付けてください。



●片引き枠

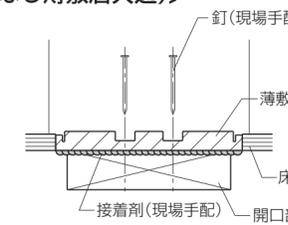
(引分け・片引き2・3枚建は片引き枠に準じる)
①埋込敷居およびフラット下レールに同梱の中縦枠下部スペーサーを、リップ面を上向きにして中縦枠のすき間に入れてください。
※以下は引違い枠を参照してください。



【薄敷居の取付け(ツバ付・ツバなし薄敷居共通)】

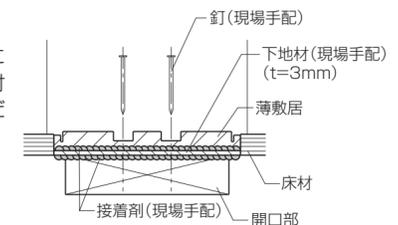
●床材厚さ12mm

※必ず薄敷居に接着剤(現場手配)を付け、躯体に固定してください。
※釘は端部より100mm離し、450mmピッチで接着剤(現場手配)と併用して取付けてください。



●床材厚さ15mm

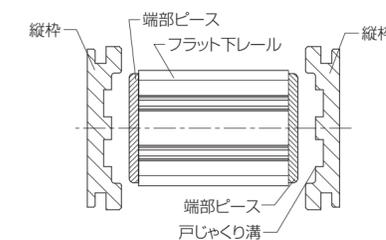
※必ず薄敷居と下地材に接着剤(現場手配)を付け、躯体に固定してください。



【フラット下レールの取付け】

①端部ピースの取付け

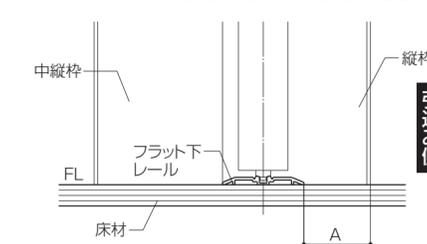
※フラット下レールに同梱されている端部ピースを縦枠戸じゃくり溝側にはめ込みます。



②縦枠に合わせて仮置きしてください。

●片引き枠

※引込み側にA寸法あけて仮置きしてください。



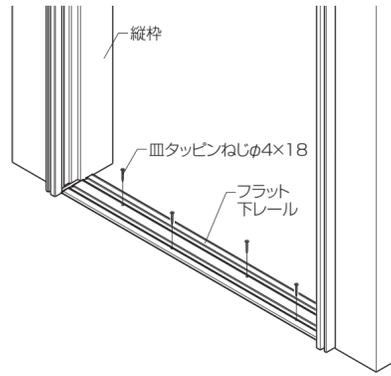
※中縦枠部は【埋込敷居の取付け】を参照してください。

●引違い枠

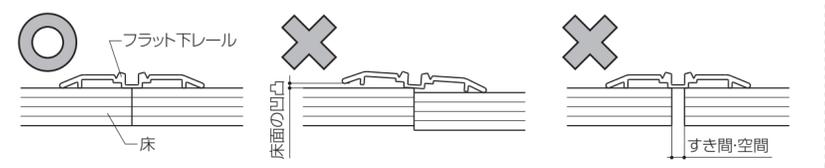
※はめ込んだ端部ピースを縦枠の戸じゃくり溝に合わせます。

枠種類	A
NC90(片引戸)	4.5
NC115(片引戸)	17
NC156(片引戸・引分け戸)	37.5
NC171(片引戸・引分け戸)	52.5
NC180(片引戸・引分け戸)	61.5
NC180(片引戸2枚建)	26.5
NC210(片引戸3枚建)	21.5
薄壁(片引戸・引分け戸)	17
厚壁(片引戸・引分け戸)	44
C付150(片引戸2枚建)	17
C付190(片引戸3枚建)	22

- フラット下レールをねじ(皿タッピンねじφ4×18)で固定します。



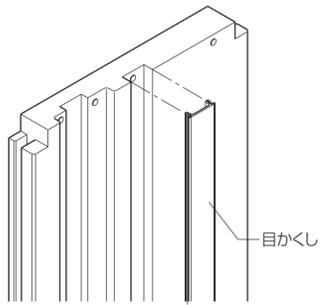
お願い
※フラット下レールを固定する床(下地)は段差やすき間がないように仕上げしてからレールを固定してください。



お願い
※フラット下レールを取付けるねじは、締めすぎないようにしてください。フラット下レールが変形し、本体開閉不具合の原因となります。

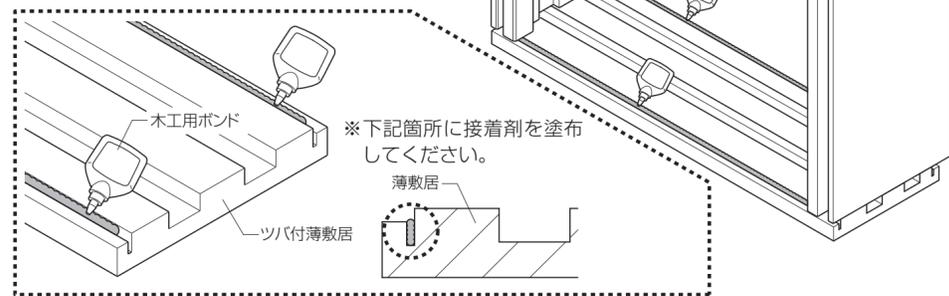


- 片引き3枚建のみ
- 縦枠中央の溝に目かくしを戸当りと同様に接着剤(現場手配)で取付けてください。

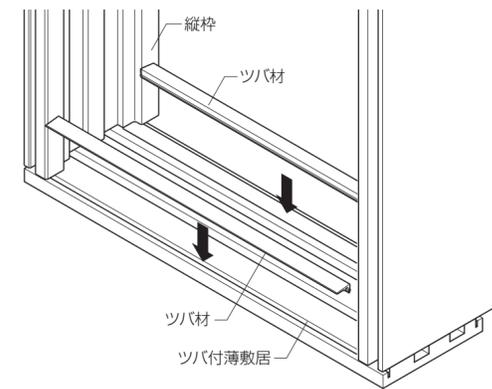
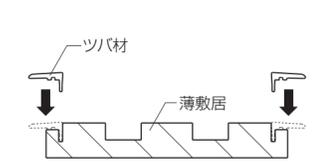


【ツバ材の取付け】
(ツバ付薄敷居を使用する場合のみ)

- ①現場でツバ材の寸法を開口に合わせて切断してください。
- ②薄敷居の溝に木工用ボンド(現場手配)を溝全長に隙間無く塗布してください。

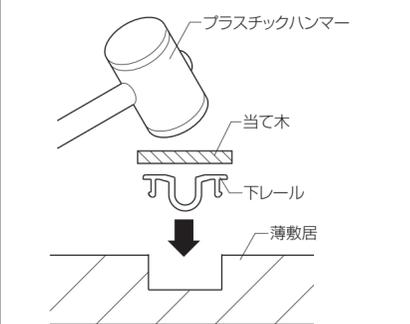


- ③ツバ材を溝に手ではめこんでください。



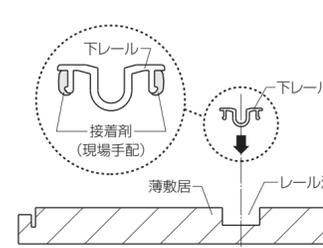
【下レールの取付け】

- 敷居の溝にプラスチックハンマーなどでたたき込んで固定します。

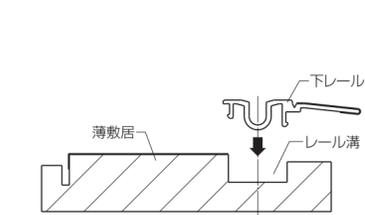


お願い
※ハンマーなどで強くたたき込まないでください。

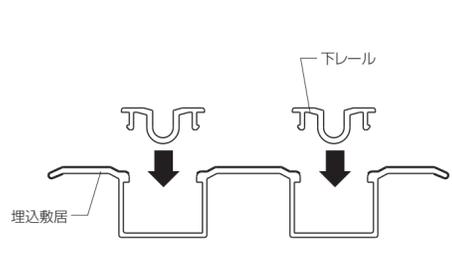
※接着剤(現場手配)は、レール溝にガタのある場合に使用してください。



※ツバ付薄敷居(NC90)用下レールNC90の場合、Vレール側はツバ形状が一体になっています。



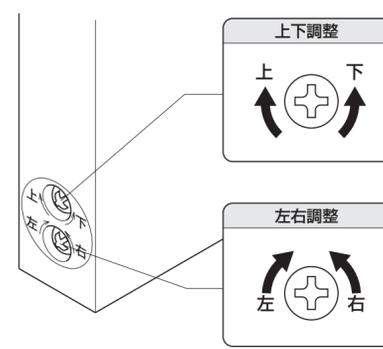
【埋込敷居の場合】



■引戸本体の調整

【上下調整(調整幅+4mm、-2mm)】

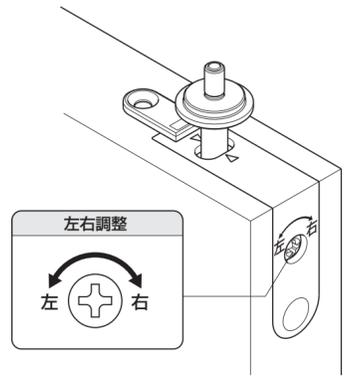
- 本体両下端の上下調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。



【左右調整(調整幅±2mm)】

- ①本体両下端の左右調整ねじを左に回すと本体が右に動き、右に回すと左に動きます。
- ②本体両上端の左右調整ねじを右に回すと本体が右に動き、左に回すと左に動きます。

お願い
※左右調整する場合は、本体同士がぶつからないように注意してください。又、本体と中縦枠モヘアが接触しすぎて、開閉が重くならないよう調整してください。



■ソフトクローズ機能 異常時の対処方法

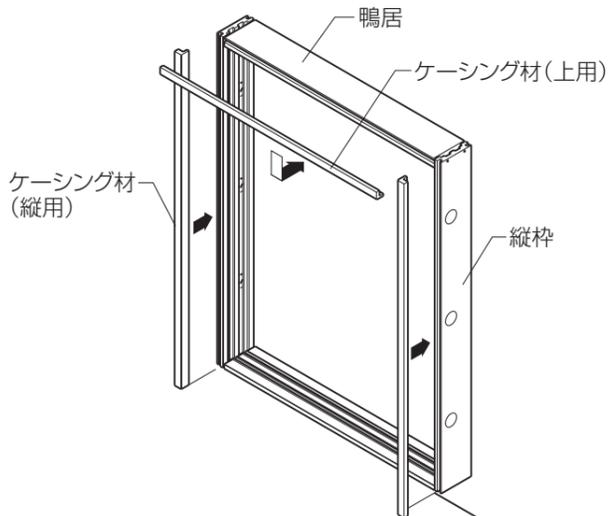
現象	チェックポイント	対処方法
閉まりきらない すき間 	●下レールに粉塵やゴミがたまり付着している 	清掃してください。 ※この面に付着している汚れをふき取ってください ※この部分にたまっているゴミを吸い取ってください
STOP! 	●ガイドローラーが上レールのセンターと芯がズレている 	ガイドローラーの左右調整ねじを右に回すと左に動き、左に回すと右に動きます。 ■ガイドローラーの調整 左右調整ねじを右に回すと本体が右に動き、左に回すと左に動きます。(調整幅左右各2mm)
●本体とモヘアが接触している ※片引き・引けのみ 	●中縦枠 額縁 本体 	戸車とガイドローラーの左右調整ねじで本体にモヘアが触れて開閉が重くならないように調整してください。 ■戸車の調整 左右調整ねじを左に回すと本体が右に動き、右に回すと左に動きます。(調整幅左右各2mm) ■ガイドローラーの調整 左右調整ねじを右に回すと本体が右に動き、左に回すと左に動きます。(調整幅左右各2mm)
●下レールの端部が敷居から浮いている ※下レールの端部が浮き上がっている 	プラスチックハンマー 当て木 縦枠(戸先側) 下レール 薄敷居 敷居 	下レールをすき間なくたたき込んでください。 ※必ず当て木をして、下レールをたたき込んでください。
●枠の取付け精度が許容範囲をオーバーしている ※「取付け精度の許容範囲」の欄参照	許容範囲内となるように再施工してください。	
●上レールの取付状態で(a)寸法が狭まっている(レール端部躯体ねじ取付箇所) 	(a)寸法が14.2±0.3になるようにレールを矯正してください。 	
●ソフトクローズ部品の外観に潤滑剤が塗布された形跡がある 	ソフトクローズ部品の交換が必要です。	
ブレーキが効かない 	●ソフトクローズ部品の外観に潤滑剤が塗布された形跡がある 	ソフトクローズ部品の交換が必要です。

※ブレーキの効きには限界があります。重量の重い本体を速く閉めるとブレーキ感を弱く感じたり、逆に重量の軽い本体・Wサイズの小さい本体を速く閉めるとブレーキ感を強く感じたりします。

【ケーシング材の取付け(ケーシングタイプのみ)】

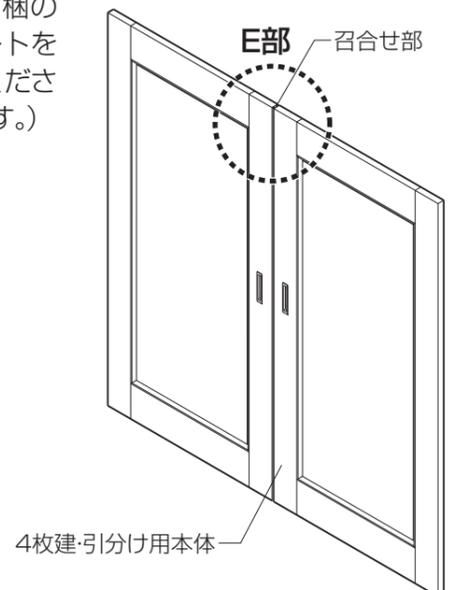
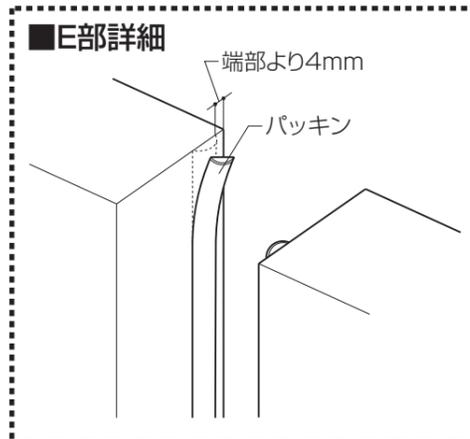
※壁材・床材を仕上げてからケーシング材を取付けてください。

- ①別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。
- ②枠のケーシング溝へケーシング材を差込みます。
- ③ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤(現場手配)を塗布し、ケーシング材を固定します。



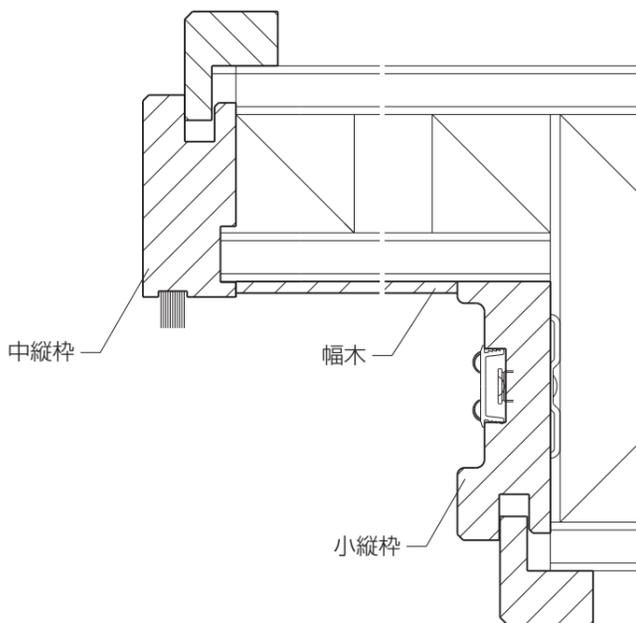
■召合わせパッキンの取付け(4枚建・引分けのみ)

※4枚建・引分け用本体の召合せ部に、枠と同梱のパッキンを取付けます。パッキン裏面のシートをはがし、5kg程度の力で手で押して張付けてください。(パッキンは枠のダンボールに入っています。)



【幅木の取付け】

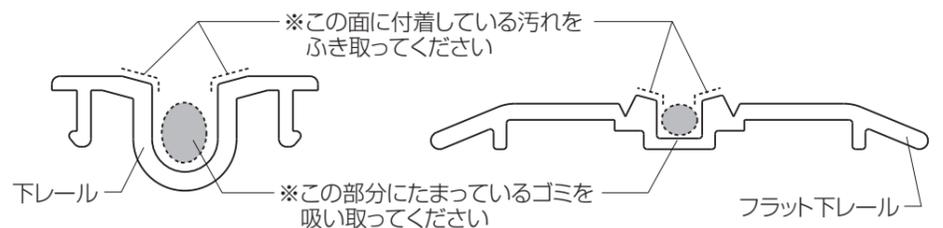
※片引き用枠には、小壁のボードと埋込敷居又はフラット下レールを見切るために幅木が同梱されています。必ずご使用ください。幅木部材の裏面にまんべんなく接着剤(現地手配)を塗布し、専用のかくし釘で固定します。かくし釘のピッチは、200~300mmです。



■3 本体の吊込み

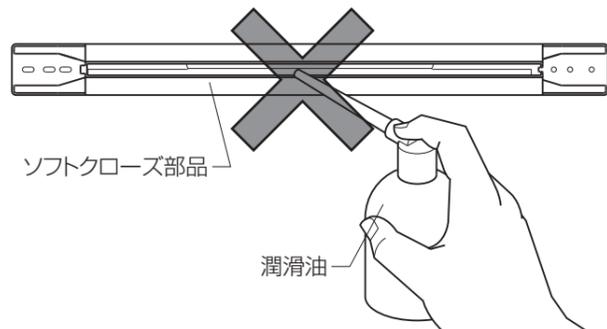
※本体の吊込み前に以下の作業を行ってください。

- ①レールの清掃を行ってください。

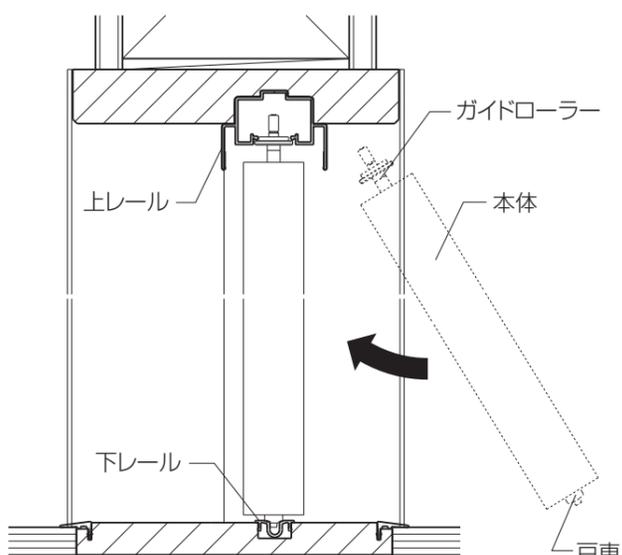


お願い

※ソフトクローズ部品に潤滑油などを塗布しないでください。作動不良の原因になります。

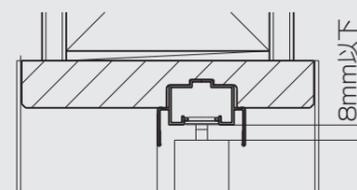


- ②本体を上げて、本体上部のガイドローラーを上レールにはめ込み、その後、本体下部の戸車を下レールにはめ込みます。



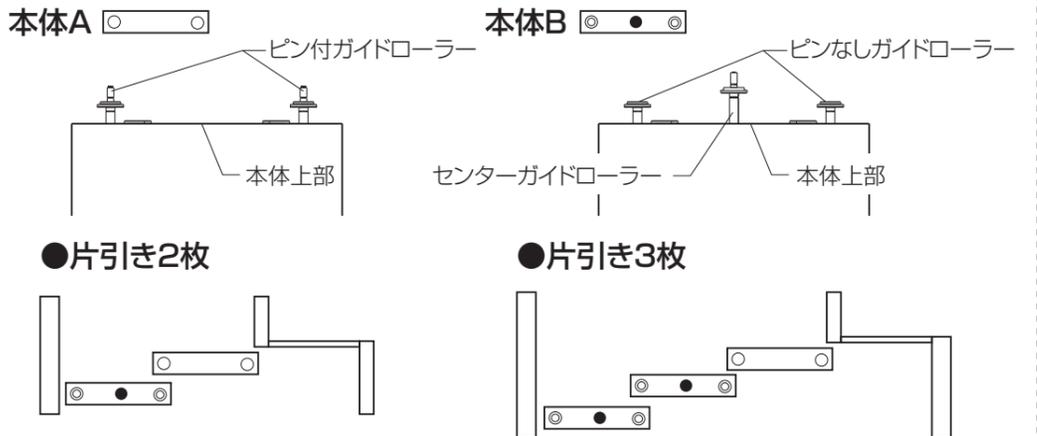
▲ 注意

- 建付け調整後、本体上端と上レール下端のチリ寸法が8mm以下であるか確認してください。本体と枠の間にすき間が生じ、本体が枠から外れやすくなり、ケガや故障の原因になります。



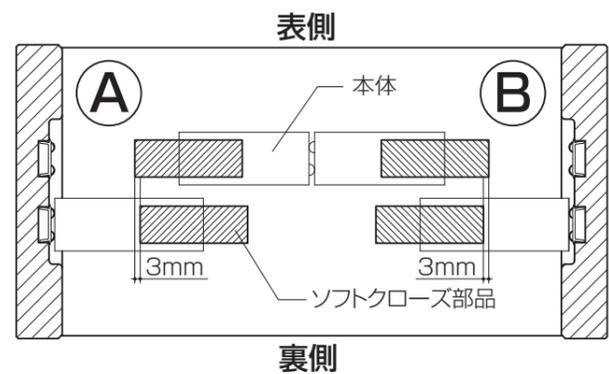
お願い

※片引き2枚建、片引き3枚建の場合、本体の吊込み位置を右図の通り行ってください。ソフトクローズ機構が正しく作動しません。



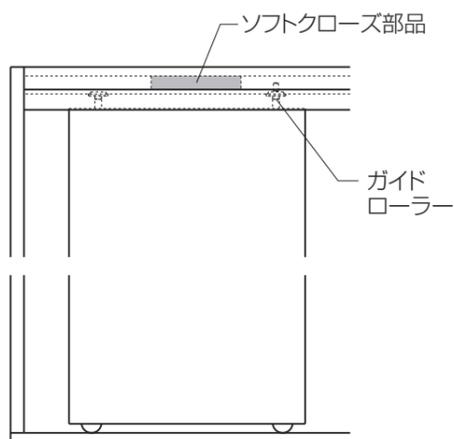
お願い

※引違い4枚建ては鴨居にユニットに表裏があるため、鴨居にA/Bスタンプが押印してあります。鴨居の向きと本体の納まりは必ず右図のようにしてください。正しく納めないと召し合わせの位置がずれたり、ソフトクローズ機構が正しく働きません。

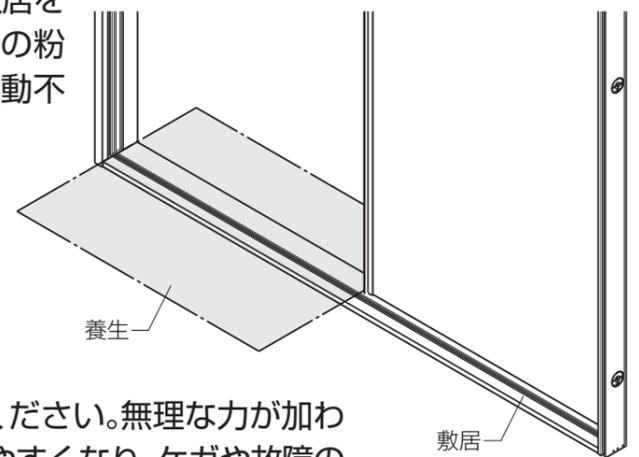


お願い

※ソフトクローズ部品とガイドローラーが干渉しない位置で吊込みを行ってください。



※ソフトクローズ機構調整後、現場作業が続く場合は敷居を養生してください。現場の粉塵がレールに付着し、作動不良の原因になります。



※本体に寄掛からないでください。無理な力が加わると、本体が枠から外れやすくなり、ケガや故障の原因になります。

■ソフトクローズ機構の自動復帰方法

※本体を吊り込んでソフトクローズ機構が作動しない場合は以下の手順を行うことでソフトクローズ機構が自動復帰します。

- ①本体を全開してください。
- ②本体を全閉してください。
- ③①、②を1～2回繰り返してください。ソフトクローズ機構が復帰します。

※必ず縦枠に当たるまで全開・全閉を行ってください。

※開閉はゆっくりと行い、ソフトクローズ機構復帰後は本体を無理に押し込んだり、引っ張ったりしないでください。作動不良の原因となります。

